



VIEW2024

ビジョン技術の実利用ワークショップ

<https://view.tc-iaip.org/view/2024/>

開催日：2024年12月5日(木)、6日(金)
パシフィコ横浜 + オンライン のハイブリッド開催予定

VIEW (Vision Engineering Workshop) は、1989年に「外観検査の自動化ワークショップ」としてスタートし、四半世紀に亘り日本における画像処理技術実利用の発展に貢献してきました。2003年より「ビジョン技術の実利用ワークショップ」と名称を変え、外観検査技術をはじめとした産業応用を根幹に据えながらも、時代の要請に呼応してその対象分野を貪欲に広げ、現在では極めて幅広い分野をカバーするに至っています。VIEWは多様な発表形式が大きな特徴となっています。オーラル講演、インタラクティブ講演、ハイブリッドオーラル講演を準備し、一般講演者にとって可能な限り最適な形式で発表できる場を提供しています。また、優秀な研究発表に対して「画像応用技術専門委員会 小田原賞」を、若手研究者による優秀な発表に対して「画像応用技術専門委員会 VIEW 若手奨励賞」をそれぞれ授与しています。

基調講演とオーラル講演とハイブリッドオーラル講演を組み合わせたハイブリッドセッションはVIEW独特のもので、インタラクティブセッションを含めてすべてシングルトラックで構成しており、参加者全員が全ての講演を聴講・議論し、最新の情報を共有できるのも特徴です。例年、約100件の講演に対し、500名程の皆様にご参加頂いております。3年ぶりに現地会場で開催されたVIEW2023に引き続き、VIEW2024でもオンライン聴講ができる環境を提供する予定です。

産・官・学のすべての研究者、技術者ばかりでなく、画像処理とその応用、実利用に関心をお持ちの皆様の参加を心からお待ち申し上げております。

スコープ:ワークショップの募集する対象分野を示します。ただし、応募対象はこれらに限られるものではありません。

対象分野	キーワード
① 基礎・基盤	画像処理アルゴリズム、パターン認識、深層学習、ビッグデータ、認証、三次元計測
② 産業応用	検査、計測、FA、ロボットビジョン、効率化、人手不足対策、監視、医療・介護
③ メディア・映像	映像処理、メディア処理、感性情報処理、ヒューマンインタフェース、スポーツ
④ 社会インフラ	先進運転支援システム、自動運転、防災、物流、インフラ管理・保全
⑤ 農林水畜産業	農業、林業、水産業、畜産業

主催: 公益社団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会

共同企画: 大規模環境の3次元計測と認識・モデル化技術専門委員会(精密工学会)、非整備環境における知的センシング技術調査専門委員会、スマートビジョンの社会実装のためのAI技術協同研究委員会(電気学会)、パターン計測部会(計測自動制御学会)、製造工程検査部門(日本非破壊検査協会)

協賛: 電気学会、計測自動制御学会、情報処理学会、日本ロボット学会、電子情報通信学会、エレクトロニクス実装学会、センシング技術応用研究会、日本電気制御機器工業会、日本非破壊検査協会、画像センシング技術研究会

運営:

実行委員長: 鷺見 和彦(青山学院大学) プログラム委員長: 斎藤 英雄(慶應義塾大学)

講演申込み: 7月頃から上記のVIEW2024ホームページから申し込み可能です。

講演申込み期限: 2024年9月中旬

採択通知: 2024年10月上旬

カメラレディ原稿提出: 2024年10月下旬

お問い合わせ先: アドコム・メディア(株)内 画像応用技術専門委員会事務局 「VIEW2024」係

〒169-0073 新宿区百人町2-21-27 TEL: 03-3367-0571 e-mail: iaip@adcom-media.co.jp